

○「普賢寺地区連絡会に向け最終点検」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第10回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月13日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員6人、京田辺市:伊藤主査、山本主事、山城北普及センター:寺岸副主査、農業会議:多田課長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 普賢寺地区連絡会の規約案の最終点検、役員の選定及び設立総会当日の次第を検討した。
- 6人の委員が協力して運営することを前提に役員選定が行われ、会長には松本委員が選定された。
- 設立総会当日の次第と役割を検討し、京田辺市農業委員会林会長に来賓挨拶をお願いすることとし、進行役を山下委員が、議長は正田委員が、また会長挨拶は松本委員が努めることとなった。
- 設立総会までに、地域代表は運営委員として、地区との連絡を主業務とすることを説明しておくことを決めた。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援